

かすがい 市議会だより

第50号
2008年8月

第4回 市議会定例会

補正予算案3件

条例案7件

一般議案8件

など可決



都市緑化植物園



三ツ又ふれあい公園の
大賀ハス

条例案・一般議案など22件を承認・可決・同意・推薦

平成20年第4回定例会

平成20年第4回定例会は、6月16日から6月30日までの15日間の会期で開催されました。

定例会には、補正予算案3件、条例案7件、一般議案8件、報告10件、人事案件1件、議会推薦3件が提出され、承認・可決・同意・推薦決定されました。

また、請願1件は不採択となりました。

なお、一般質問は6月26日、27日に20名の議員が市政の課題について、市の考え方をただしました。

補正予算案

▽平成20年度国民健康保険事業特別会計補正予算の専決処分の承認

前年度繰上充用金として、28億8,000万円を補正する専決処分です。

▽平成20年度老人保健医療事業特別会計補正予算の専決処分の承認

前年度繰上充用金として、2億233万7,000円を補正する専決処分です。

▽平成20年度一般会計補正予算

税源移譲により、住民税負担の増加の影響のみを受ける方に対し、住民税相当額の還付を行うために、3億5,000万円を補正するものです。

条例案

▽市税条例の一部を改正する条例

地方税法の一部改正に伴い、個人市民税の特別徴収等について規定を整備するものです。

▽消防団員等公務災害補償条例の一部を改正する条例

配偶者以外の扶養親族に係る補償基礎額の加算額を1人につき217円（現行200円）とするものです。

▽監査委員条例の一部を改正する条例

地方公共団体の財政の健全化に関する法律の制定に伴い、規定を整備するものです。

▽私立幼稚園就園奨励費の補助に関する条例の一部を改正する条例

幼稚園等に在園し、特別支援学校の小学部及び、小学校3年生までに兄又は姉がいる場合の補助金の額の引上げをするものです。

▽国民健康保険税条例の一部を改正する条例

地方税法の一部改正に伴い、国民健康保険税の特別徴収について規定を整備するものです。

▽医療費の支給に関する条例及び健康管理施設条例の一部を改正する条例

診療報酬の算定方法の全部改正に伴い、規定を整備するものです。

▽春日井都市計画事業勝川駅前土地区画整理事業施行条例を廃止する条例

勝川駅前土地区画整理事業の完了に伴い、廃止するものです。

一般議案

▽子どもの家の指定管理者の指定

高座及び上条子どもの家の指定管理者として、社会福祉法人春日井市社会福祉事業団を指定するもの。指定期間 平成20年10月1日から25年3月31日まで。

▽勝川北部保育園新築工事（建築）の請負契約

契約金額 2億1,525万円

相手方 株式会社 協和コーポレーション

▽クリーンセンター旧3号焼却炉解体工事の請負契約

契約金額 3億3,474万円

相手方 丸彦渡辺・猪野特定建設工事共同企業体

▽衛生プラント汚泥処理設備工事の請負契約

契約金額 2億790万円

相手方 荏原エンジニアリングサービス株式会社 中部支店

▽鷹来工業団地用地の取得

場所 鷹来町字大半才3315番2ほか1筆

面積 10,000㎡

取得金額 13億3,707万4,754円

相手方 春日井市土地開発公社

▽東部丘陵地域整備用地の取得

場所 廻間町字奥山1115番2ほか15筆

面積 20,639㎡

取得金額 2億5,823万9,669円

相手方 春日井市土地開発公社

▽春日井地区学校用地の取得

場所 西高山町2丁目11番2

面積 5,191.80㎡

取得金額 7億3,077万222円

相手方 春日井市土地開発公社

▽土地開発公社定款の変更

請願審議

定例会に、1件の請願が提出され、委員会に付託し審査しました。その後、本会議で委員長の審査結果報告の後、採決し、結果は次のとおりです。

▽後期高齢者医療制度等の中止撤回を求める請願書

……………不採択

第 4 回 定 例 会

◇ 上 程 議 案 と 審 議 結 果 ◇

◎ 補正予算案…………… 3 件

- 平成20年度国民健康保険事業特別会計補正予算の専決処分の承認……………承認 (全会一致)
- 平成20年度老人保健医療事業特別会計補正予算の専決処分の承認……………承認 (全会一致)
- 平成20年度一般会計補正予算……………可決 (全会一致)

◎ 条例案…………… 7 件

- 市税条例の一部を改正する条例……………可決 (賛成多数)
- 消防団員等公務災害補償条例の一部を改正する条例……………可決 (全会一致)
- 監査委員条例の一部を改正する条例……………可決 (全会一致)
- 私立幼稚園就園奨励費の補助に関する条例の一部を改正する条例……………可決 (全会一致)
- 国民健康保険税条例の一部を改正する条例……………可決 (賛成多数)
- 医療費の支給に関する条例及び健康管理施設条例の一部を改正する条例……………可決 (全会一致)
- 春日井都市計画事業勝川駅前土地区画整理事業施行条例を廃止する条例……………可決 (全会一致)

◎ 一般議案…………… 8 件

- 子どもの家の指定管理者の指定……………可決 (全会一致)
- 勝川北部保育園新築工事 (建築) の請負契約……………可決 (全会一致)
- クリーンセンター旧 3 号焼却炉解体工事の請負契約……………可決 (全会一致)
- 衛生プラント汚泥処理設備工事の請負契約……………可決 (全会一致)
- 鷹来工業団地用地の取得……………可決 (全会一致)
- 東部丘陵地域整備用地の取得……………可決 (全会一致)
- 春日井地区学校用地の取得……………可決 (全会一致)
- 土地開発公社定款の変更……………可決 (全会一致)

◎ 人事案件…………… 1 件

- 固定資産評価審査委員会委員の選任の同意……………同意 (全会一致)

◎ 議会推薦…………… 3 件

- 農業委員会委員の推薦……………推薦決定 (全会一致)
- 農業委員会委員の推薦……………推薦決定 (全会一致)
- 農業委員会委員の推薦……………推薦決定 (全会一致)

人 事 案 件

固定資産評価審査委員会委員に、鈴木 昭氏の選任に同意しました。

議 会 推 薦

農業委員会委員に松本 能子氏、成田 初敏氏、伊藤 隆司氏を推薦しました。

市 議 会 の お は な し

予算・条例などの議案は下記のようにして決定されます。

① 本会議 (提案理由説明)



本会議は、議員全員で構成される会議です。議員全員で議案や請願などを審議、審査します。

② 委員会



委員会は、選任された委員で構成し、4委員会あります。本会議からの議案を受けて各委員会で審査し、専門的に慎重に審議します。委員会の最終的な意思を多数決で決定します。

③ 本会議 (一般質問)



市政全般にわたる一般質問を行います。

④ 本会議 (採決)



各委員会での結果報告を受けて、賛成反対の討論を行い、議会の最終的な意思を多数決で決定します。



市政全般にわたる問題について質問します

今回の定例会では、20名の議員が市の考え方や方針など、市政全般にわたり、33項目の一般質問を行いました。一般質問は、市当局に対し施策・事業などの現状や将来計画の考え方など、市民に密着した問題をただすため行うものです。各議員の質問と当局の答弁を、要旨で掲載しています。（一般質問については、質問者から提出された原稿で掲載しています。）

1 敬老会の地域開催について

質問者 政木 りか 担当 高齢福祉課

【質問】今年度から地域団体が開催する敬老行事に対し補助金を交付することになったが、市民の見解は様々で周知不十分である。今後の実施促進策について問う。①同じ地域の区と町内会の両方で開催しようとしたとき、どちらも補助の対象となるのか。②今まで80歳以上全員に通知され参加できたが、地区社協・町内会等の地域団体に未加入者への対応について問う。

【答弁】周知については、市広報に掲載するとともに、対象とするすべての団体に通知しました。今後、必要に応じて地域に出かけて説明を行うなど、より多くの地域で敬老行事が実施されるよう努めていきます。区と町内会の両方で開催されたときには、どちらも補助の対象になります。町内会等への未加入者についても、参加を呼びかけていただくようお話ししています。

2 市民病院の医療安全管理について

質問者 中藤 幸子 担当 市民病院管理課

【質問】平成17年1月の厚生労働省の通知で患者ごとの使用とされていた真空採血管用ホルダーを、市民病院は再使用していた。6月3日の事実判明後、使い捨てに切り替え、19日に発表したことは評価したい。しかし、17年頃の病院の医療安全対策はどうなっていたのか。今後の対応策はどうか。また、病院安全推進室はどう機能するのか。

【答弁】市民病院の血液検査では、平成16年から感染防止対策として延長チューブ付きの採血針による安全な方法を採用しており、採血管ホルダーは本年6月12日から全て使い捨てのものに切り替えました。また、医療機器等に関する情報は、平成18年1月から病院安全推進室で一元管理しており、今後は情報の収集管理を徹底し、病院の安全確保に努めてまいります。

3 子どもの安全安心対策について

質問者 林 克巳 担当 市民安全課

【質問】地域で安全安心情報の共有化を推進することが地域ぐるみの子どもの見守り活動につながり犯罪抑止効果を発揮する。子どもに対する犯罪被害につながる恐れのある不審者情報を迅速に幅広く収集する仕組みづくり、そして収集した不審者情報を効果的に市民にお知らせして注意を喚起していく仕組みづくりの充実が必要だが当局の考えを問う。

【答弁】現在本市で行っている安全安心情報ネットワークは警察・教育委員会・市により情報共有化を図り、いち早く情報を配信できる体制を確立しています。登録者数は現在約1,600名、昨年の不審者情報は34件、事件情報は84件でした。今後さらに登録者数の拡充を図ります。また、FAXによる通信網も確立しており、市内の学校関係、ボランティア団体等にも情報を提供し見守り活動に生かしています。

4 市民サービス施設の適正配置について

質問者 白田 孝治 担当 行政経営課

【質問】施設の配置は、地域居住者の要求と市の財政状況に照らし適切か。施設の業務は複雑多岐にわたり、職員に十分な知識がないと、満足できるサービスの提供が出来ないと考えるが、職員の確保はどのようにされるのか。また、東部地区の施設再配置にあたり、市民の利便性を考慮し、本庁機能を有する支所が必要と思うが、どのように考えているか問う。

【答弁】公共施設については、サービスの利便性を高めるため、全市的な観点から適切に配置しています。また、制度改正等に的確に対応し、質の高いサービスを提供するためには、窓口業務に精通する職員の育成と適正な配置が重要と考えています。施設のあり方については、時代の変遷とともに常に見直すことが必要であり、支所のあり方を含め今後検討してまいります。



5 青少年健全育成について

質問者 小原 哉 担当 学校教育課

【質問】インターネットの利用や携帯電話の普及が小中学生の間にも急速に広がっているが、学校でのインターネット教育について、フィルタリングサービス普及への啓発活動の現状と今後の取り組みについて問う。

また、小中学生が大きな事件に巻き込まれる前に、携帯電話やインターネットの「利用の実態」の現状について把握するべきではと思うが、市の見解を問う。

【答弁】学校では、情報化社会における情報の収集や活用だけでなく、情報とどのように関わるかを学ぶ情報モラル教育の充実が求められており、教師への研修を実施し、発達段階に応じてより実情にあった情報モラル教育を実践しています。また携帯電話の所有率や使用方法などの現状を把握するには至っておりませんが、この問題は、家庭と学校が互いに対応すべきものと考えます。

6 認知症対策について

質問者 山際 喜義 担当 介護保険課

【質問】高齢化が進行する中、トータルな認知症対策の構築が急がれます。①認知症予防事業の実施とミニデイサービスの充実 ②地域で支えるために認知症サポーターの養成と、かかりつけ医の参画した地域連携体制の確立 ③家族サロンの提供など介護家族のためのトータルな支援 ④時計描画自動採点システムを導入した認知症スクリーニングの実施について問う。

【答弁】①認知症予防につきましては、特定高齢者に効果のある予防事業の実施を検討するとともに、ミニデイサービスの内容の充実と実施地区の拡大を図ります。②認知症の支援体制につきましては、今年度サポーター養成講座を実施するとともに、地域連携体制の構築に積極的に参画してまいります。③介護家族への支援につきましては、トータル的な地域支援ができるよう事業構築に向け取り組みます。④自動採点システムの導入について研究してまいります。

7 地球温暖化対策の日(クールアース・デー)の啓発について

質問者 石原 めいこ 担当 環境政策課

【質問】7月7日から、北海道・洞爺湖サミットが開かれる。ここでは地球温暖化対策をはじめ環境問題が大きなテーマとなっている。環境問題に対する国民の関心が高まるなか、積極的に取り組んでいかなければならない。初日の7月7日を、みんなで地球温暖化を考え行動する日「クールアース・デー」と制定し各施設や家庭での「ライトダウン」の啓発について問う。

【答弁】地球温暖化防止のため「CO₂削減／ライトダウンキャンペーン」が、今年度は、夏至の日に加えサミット初日にも実施されます。市では、一部の公共施設で消灯を行うとともに、広報で家庭におけるライトダウンを呼びかけています。「クールアース・デー」については、国などの動向を見ながら対応してまいります。また、引き続き啓発事業を実施してまいります。

8 学校支援ボランティアについて

質問者 田中 千幸 担当 学校教育課

【質問】文科省の「学校支援地域本部(仮称)事業」が始まる。これは、教員が子どもと向き合う時間を増やし、“地域教育力”を高めることにある。教員が子どもを慈しむ心、他者の為に働く住民の“背中”、最も必要な教育と思う。発達障がい児のいる教室に新たな支援体制を設けることと、有償ボラの時給など明確な基準が必要になると思うが、各々のご所見を伺う。

【答弁】保護者やボランティアによる支援の取り組みは、発達障がい児の支援体制充実にはとても大切なことであり、そのあり方について検討するとともに、関係諸機関と連携して調査研究を進めます。また学校支援の体制づくりには、保護者、地域住民との協力関係の構築など今後の事業推進に向け、有償基準の明確化を含め、この施策の動向や他市町の取り組みを踏まえ検討してまいります。

9 幼稚園・保育所と小学校の連携のあり方について

質問者 安達 佳代 担当 保育課他

【質問】教育基本法改正に伴い小学校学習指導要領・幼稚園教育要領・保育所保育指針が同時に告示された。これにより幼保小の連携の必要性・重要性そして共通認識がさらに求められる。幼児期から児童期にかけての生活と発達の連続性を踏まえ、子ども達の育ちを支え小学校への円滑な接続を果たす実践や体制固めなど連携にあたっての具体的な取り組みを問う。

【答弁】小学校への滑らかな接続、幼児教育と学校教育の相互理解のため、教師自らが情報交換会などの交流を行い、幼保小がそれぞれの教育の独自性と連続性を理解し合い、子どもの生きる力を伸ばし、健やかな育ちを支えています。保育所保育指針には、小学校教員と保育士が子どもに関する情報を共有し、積極的な連携を図るよう示されています。継続的で緊密な交流を行うため、今後も教育委員会と協議してまいります。

10 環境問題について

質問者 水野 義彦 担当 環境政策課

【質問】地球温暖化対策の一つ「カーボン・オフセット」とは、「削減できないCO₂などの温室効果ガスに見合った環境保護事業などに投資することにより、温室効果ガスを排出した分を相殺する仕組み」であるが、これに関して、国からどんな情報が市にあるのか。また、環境基本計画の削減目標が達成できない場合、「カーボン・オフセット」の手法を取り入れてはどうか。

【答弁】今年2月、国において「我が国におけるカーボン・オフセットのあり方について」の指針が策定されました。市では、「環境基本計画」に掲げた二酸化炭素排出量の削減を図るため、地球温暖化対策機器の設置補助や市民環境フォーラム、環境家計簿などによる情報提供に努めるとともに「カーボン・オフセット」の手法を調査・研究してまいります。

11 人と自然が共生する自然共生型のまちづくりについて

質問者 長縄 典夫 担当 環境政策課他

【質問】庄内川は、街中を貫流することなく、市境を流れているため、河川環境や景観への関心が希薄である。庄内川を安全で自然豊かな親しみが持てる川として、再発見し、市民との協働でのまちづくりに活かすため、自然再生を目指す「水辺の楽校プロジェクト」の活用を促し、水辺の整備やスポーツ・レクリエーション施設の整備について考えを問う。

【答弁】子どもたちの河川や水辺の環境学習として、水生生物や水辺植物の調査を、教諭や地域協力者、保護者などと協力して実施しています。今後も関係部署と連携し、環境学習の推進を図ってまいります。また、河川環境の保全と再生を図るため、国土交通省が推進しております「水辺の楽校プロジェクト」の準備会を、現在、設けたところであります。今後、河川における環境学習や自然体験活動の場が確保できるように計画づくりが行われ、この計画に基づき国が直轄事業として整備を進めるものです。

12 いじめ対策について

質問者 佐々木 圭祐 担当 学校教育課

【質問】本市におけるいじめの現状と対策について、各学校でのいじめの実態調査の方法と、いじめの状況を聞き、教師と児童生徒が、ふれあう時間を確保できているのか。また、インターネット上でのいじめなど、情報化時代に対する市としての対応を聞き、いじめ撲滅に向けての取り組みの一つとして、ピアサポートの導入についての考えと、取り組んでいる事例を問う。

【答弁】いじめの発見には、教師のほか子どもや保護者、地域住民からの情報、全校アンケートなど様々なところから把握しています。インターネットによるいじめについては、外部講師による学習会の開催など情報モラル教育を推進しています。またピアサポートについては、その導入を含め現在行っている児童生徒が主体となった取り組みの推進とあわせて研究してまいります。

13 災害時のボランティアについて

質問者 熊野 義樹 担当 市民安全課

【質問】新潟県柏崎市で地震発生後の救援ボランティアを体験して、災害対策本部とボランティア受付センターとの連携の難しさを実感した。ボランティアと、子どもを含めた地域の人との心の触れ合いが、皆の心を和ませた。本市では大地震、風水害が勃発した場合、全国から来るボランティアに対しどのような受け入れ方をするのか、救援活動時の配備体制を問う。

【答弁】本市では災害時職員行動マニュアルを定めており、市民経済部を中心にボランティア部を立ち上げます。しかし大災害時等、大量の救援要請が求められる場合にはボランティアセンターを設置し、ボランティアの受け入れ・配置等を行うこととなります。このボランティアセンターの運営・活動についてはこの7月に社会福祉協議会と正式な協定を締結し、さらに円滑な運営をめざします。

14 町内会・自治会活動への支援について

質問者 長谷川 健二 担当 市民活動推進課

【質問】毎年のように町内会加入率が減少している。いつ起きるか分からない大地震で助け合うことや、頻繁に起きる犯罪にも立ち向かうのは、町内会に入っている隣人です。最近、不審者や盗難が増えてきており早急の対策が必要です。高齢者の対応も町内会として見守る必要があります。町内会活性化研究委員会が発足されたが、加入率を上げることへの市の対応を問う。

【答弁】町内会活性化研究委員会の意見や提案を踏まえ、地域の活性化を図るため、様々な啓蒙・啓発に取り組んでいるところです。今年度は、地域の各種団体への支援がより地域の活性化につながるものとなるよう総合的に見直すこととしています。防災、防犯や高齢者、弱者への対応につきましても、町内会などが中心となった共助の体制づくりが必要であると考えております。

15 福祉医療について

質問者 伊藤 建治 担当 生活医療課

【質問】春日井市の福祉医療のうち、65歳から74歳の障がい者の方の医療費助成は、後期高齢者医療を選択した場合のみ支給されることとされ、後期高齢者医療を選択しない場合は病院での窓口負担が発生し、実質的に後期高齢者医療への加入を強制する形となっている。いずれの健康保険を選択しても、福祉医療を支給できるようにすべきではないか。

【答弁】後期高齢者医療制度を選択しない場合の福祉医療費助成の予定は、現在のところありませんが、愛知県では、県内市町村を対象に新制度へ加入しなかった障がい者の数、理由等の実態調査をしており、今後、県等の動向を注視してまいります。また、市独自で福祉医療制度で対応するためには、多額の経費を要するため、現時点で、実施は難しいと考えております。

16 子ども格差について

質問者 前田 扶美子 担当 学校教育課

【質問】近年、教育課程の中で様々な子どもの格差が生まれている。①経済的事情により就学が困難な家庭の子どもに対する援助②学力の低い児童生徒の学習面を補う具体的な制度等。端的に言えば、もっとひとりひとりに対する愛情を持った教育をするべきだと思うが、格差を解消する手立てとしての市の考え方を問う。

【答弁】経済的理由により教育に関わる費用の負担が困難な児童生徒の保護者に対して、就学援助制度によりその経費の一部を助成し、円滑な教育を実施しています。また、少人数学級・少人数指導により、「子どもに行き届いた指導」「落ち着いた雰囲気の中での学習」ができるなど効果が出ており、今後も学習意欲の向上を目指し、児童生徒の指導に努めてまいります。

17 市の業務における業務委託について

質問者 宮地 ゆたか 担当 市民課

【質問】広報の特集で、わが市は特例市39市中、職員数で少ない方から5位、給与は安い方から2位でした。正職員数は少ないが、市民課で住民票等を扱う業務を民間業者に委託している様に、一方では非正規職員を多く働かせている。市民課窓口業務の委託・請負はいつから始まり、労働省告示第37号による区分に従えば派遣に該当するのではないかと、見解を問う。

【答弁】市民課窓口業務の委託は平成3年度に始まりました。現在の業務は国が示す「民間事業者に委託することが可能な業務の範囲」に基づくもので、委託職員の配属、研修、指導も全て受託業者が行っています。

また、総務省が示す市職員の適切な管理下は労働省告示の混在や共同処理にはあたらないものであり、民間のノウハウを活用した業務請負と認識しております。

18 シティバス運行の見直しについて

質問者 内藤 富江 担当 交通対策課

【質問】2009年度中の運行をめざし、シティバス、ハートフルライナーが新たに見直しをされます。買物や通院、通学など生活の足として、もっと気軽に利用できるようにしてほしいと願う市民の声に応え、施設連絡バスの見直し、空白地域の解消など利用者の利便性を優先した運行ができるようにするべきだと考えます。バス路線見直しにあたって当局の考えを問う。

【答弁】昨年12月に地域公共交通会議を設置しました。会議では、公共交通の現状把握、公共交通が利用できる圏域の整理、利用者アンケート等の分析を行い、高齢者等の移動手段の確保、使いやすい運行ダイヤの編成、シティバスで重複している路線が課題として取り上げられました。これらの課題から公共交通空白地域の解消、施設連絡線を含めた既設路線の使いやすさの向上、既設路線の運行効率の向上を基本方針として、既存事業者との調整や運行効率の向上を総合的に判断し、見直しを進めていきます。

19 福祉行政について

質問者 内田 謙 担当 高齢福祉課

【質問】福祉の里は、1995年、高齢者等の健康の増進などを目的にオープンした。この施設は、午前9時から午後9時30分まで利用できるが、浴室については、午前10時から午後4時までとなっている。しかも、午後3時30分までに浴室に入らないといけない。浴室利用者の数は減少傾向が続いている。多くの人に利用してもらうため、利用時間の延長を求める。

【答弁】浴室の利用時間は、利用者の大半が高齢者であることと、施設が市の東北部に位置していることから、昼間時間帯の午前10時から午後4時までとしてきました。高齢化の進行とともに、夜間の利用ニーズも増していく可能性があるため、利用者のニーズを把握する中で、費用対効果を考えながら、利用時間の延長についても検討していきます。



20 環境対策について

質問者 伊藤 隆司 担当 環境政策課

【質問】環境浄化微生物「えひめA I」は、乳酸菌、酵母菌、納豆菌で作られ、安全で安価に入手することができます。有用性については、1. 酵素による難分解性物質の分解を促進する。2. 微生物の食物連鎖を促進する。3. 水質の向上や余剰汚泥を減少させる。4. 悪臭物質を分解消臭するなどの効果が確認されています。積極的に利用を促進させるべきではないかを問う。

【答弁】「えひめA I」は、愛媛県産業技術研究所が開発した商品で、同研究所の試験では浄化槽に入れることで排水の改善や汚泥の減少が見られ、それに伴う河川の浄化など、また、生ごみに混ぜることで消臭や堆肥化の促進に効果があることなどが報告されています。市民への推奨については、今後、導入事例の情報収集を行うなど研究してまいります。

掲載以外の質問事項

- | | |
|------------------------|-------|
| ● 協働について | 政木 りか |
| ● ドッグランの整備について | 中藤 幸子 |
| ● インターネットを活用した行政事務について | 林 克巳 |
| ● 「ふるさと納税」について | 山際 喜義 |
| ● 市民活動推進の支援について | 石原めいこ |
| ● 言語訓練室の充実について | 安達 佳代 |
| ● 危機管理について | 水野 義彦 |
| ● 高蔵寺駅地下道について | 伊藤 建治 |
| ● 農地の保全について | |
| ● 公共施設の管理運営について | 宮地ゆたか |
| ● 航空自衛隊に関する問題について | |
| ● 広告掲載について | 内藤 富江 |
| ● 教育行政について | 内田 謙 |

議員表彰

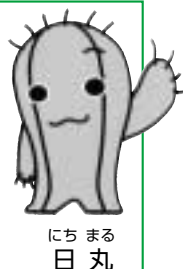
5月28日に開催された第84回全国市議会議長会定期総会において、次の2名に議員在職25年の表彰状が、授与されました。

内田 謙議員 伊藤 隆司議員

残暑お見舞い申し上げます。

公職選挙法により、あいさつ状を出すことは禁止されております。

春日井市議会



にちまる
日丸

平成20年 第5回定例会予定

- ▽9月8日(月) 本会議 (提案理由説明)
 - ▽9月10日(水) 本会議 (質疑、委員会付託)
 - ▽9月12日(金) 文教経済委員会
 - ▽9月16日(火) 厚生委員会
 - ▽9月17日(水) 建設委員会
 - ▽9月18日(木) 総務委員会
 - ▽9月24日(水) 本会議 (一般質問)
 - ▽9月25日(木) 本会議 (一般質問)
 - ▽9月29日(月) 本会議 (採決)
- ※議事の都合により、日程が変更になる場合があります。問い合わせ 議事課 (☎85-6492)

傍聴のご案内

市議会の本会議と常任委員会は一般に公開され、どなたでも傍聴できます。

身近な市政の動きを知るためにも、議会を傍聴してみませんか。

【本会議を傍聴される方】

本会議は、通常午前10時に開会します。傍聴を希望される方は、本庁舎5階の議場傍聴席入口にお越しください。定員は88名で、うち車いす席は6名です。

【委員会を傍聴される方】

常任委員会は、通常午前9時に開会します。当日の午前8時半から午前8時45分までに、市役所3階議会事務局にお越しください。定員は5名です。(定員を超えた場合は抽選で決定します)



編集後記

第4回定例会において、20名の議員が市政の課題など一般質問を行いました。今回は不幸にして国内では前代未聞の大規模で大きな被害をもたらした「岩手・宮城内陸地震」を目の当たりにし、多くの議員が防災について質問し、改めて行政の大規模災害への対応の重要性を再確認しました。今後とも市民の安心・安全確保に努め、議会が市民生活により密着出来るよう、「市議会だより」の充実に努めてまいります。残暑もまだまだ続きそうですが、水難・交通事故や病気等に遭わないようご自愛ください。 編集委員一同